京都市長選挙予定候補
様

２０１９年１１月２５日

京都市指定家庭ごみ袋代に関する公開質問状

平素より京都市の市政にひとかたならぬご尽力をいただき感謝申し上げます。
私たちは京都市指定家庭ごみ袋代の値下げを求めて請願署名活動をしている市民グループです。

京都市の指定ごみ袋は近隣の他市に比べて異常に高くなっています（４５ℓ袋１枚が京都市４５円、大津市１３円、豊中市８円）。
ごみ排出量を抑える目的で、ある程度高くないと意味がないという考え方で価格設定されているため、毎年１０億円以上の利益があります。南部クリーンセンターの展望台建設や街路樹の整備など、ごみの分別・減量と関係のないことにも使われています。
「京都市民環境ファンド」の積立ての昨年度末の残高は約１０億円と聞いています。
そもそもごみの分別・減量は地方自治体の最も基本的な仕事で、税金でまかなわれるべきものです。現在も無料で行っている自治体もたくさんあります。市民の生活は苦しくなるばかりです。市民の望んでもいないことに使ったり、積み立てたりせず、せめて値下げしてほしいと思います。

来年の市長選挙にあたり、予定候補の皆様に公開質問状を送付させていただきます。ご回答を記入の上、FAX（075-342-1553）
またはメール（sinfujin@mbox.kyoto-inet.or.jp）で　１２月１０日までにご返答の程よろしくお願いいたします。なおこの結果はチラシやホームページ等で公開させていただきます。

京都の環境・ごみ問題を考える　ごみ袋値下げ市民ネット
連絡先　京都市下京区新町通七条下る東塩小路町 727
電話：075-342-1552（新日本婦人の会京都府本部内）

公　開　質　問　内　容

１、ごみの収集・処理は市民の納めた税金でまかなわれているにもかかわらず、さらに市民からごみ袋代を徴収するのは、税金の二重取りになると思いますが、どうお考えですか。

（　　）

２、ごみ袋の販売収入から製造経費を差し引いた利益は毎年１０億円以上になります。これは防鳥用ネットの貸出など、ごみの収集・分別や減量に関することにも使われています。しかし南部クリーンセンターの展望台建設や街路樹の整備など、ごみの分別や減量と関係のないものにも使われていることについてどうお考えですか。

（　　）

３、利益の一部を積立て、貯め込み金（京都市民環境ファンド）の残高は現在１０億円にもなっていることをどうお考えですか。

（　　）

４、さらなるごみの分別・減量をすすめるためにごみ袋代の値下げを提案しています。このことについてのお考えをお聞かせください。

（　　）

５、その他、ご意見があればお書きください

（　　）

以上がお尋ねしたい質問でございます。
ご多忙の折に恐縮ですが、ご回答の程何卒よろしくお願い申し上げます。
この質問の結果につきましては、無回答も含め正式に発表させていただきます。

回答者氏名（　　）